

2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年7月31日

上場会社名 日本デコラックス株式会社
 コード番号 7950 URL <http://www.decoluxe.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 重夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 石川 正直

TEL 0587-93-2411

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,060	17.7	14	83.2	16	81.4	11	83.4
2020年3月期第1四半期	1,288	8.6	83	20.9	87	25.7	67	16.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	13.87	
2020年3月期第1四半期	83.47	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	16,136	14,523	90.0
2020年3月期	16,652	14,642	87.9

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 14,523百万円 2020年3月期 14,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		120.00		160.00	280.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		80.00			

(注)2021年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では通期の業績の見通しがつかないため引き続き未定とし、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期第2四半期(累計)の業績予想(2020年4月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,200	82.3	100	42.4	100	42.0	70	40.6	86.18

業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症拡大が当社の事業活動及び経営成績に与える影響を合理的に算出できないため、第2四半期累計期間のみの業績予想とし、通期の業績予想については引き続き「未定」としております。
 通期の業績予想については、今後開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	893,000 株	2020年3月期	893,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	80,797 株	2020年3月期	80,747 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	812,228 株	2020年3月期1Q	812,263 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」）の世界的な流行の影響により急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にありました。感染症の影響により、企業収益が急速に減少しており、先行きも当面、極めて厳しく不透明な状況が続くものと見込まれております。

このような状況の下、当社のセグメント別の業績は、以下の通りとなりました。

<建築材料事業セグメント>

化粧板製品のうち、高圧メラミン化粧板は、2020年の東京オリンピック開催延期に伴い、第1四半期に需要が見込まれていた首都圏の高層オフィス及び新築改修需要の延期または中止が相次ぎ、オフィス家具向けとトイレブース向けの需要が減少しました。

不燃メラミン化粧板は、昨年4月に販売を開始したモザイク柄同調エンボス不燃メラミン化粧板「パニート モザイコ」について、よりお客様のニーズに合った製品の提供ができるよう設計価格の改定およびサイズバリエーションの追加を進めてまいりました。また、不燃メラミン化粧板「パニート」についても、2.4mmタイプ的设计価格改定を行い、拡販に注力しましたが、感染症の影響により、住宅リフォーム市場の需要が減少しました。

その結果、化粧板製品の売上高は659百万円（前年同四半期比78.4%）となりました。

電子部品業界向け製品は、米中貿易摩擦の影響による国内のプリント基板業界の景気悪化の回復の兆しが無いことに加え、感染症の影響により堅調に推移していた自動車の生産も急速に悪化したことにより、プリント基板用フェノール積層板の需要が減少しました。

その結果、電子部品業界向け製品の売上高は140百万円（前年同四半期比86.4%）となりました。

ケミカルアンカー製品は、感染症による緊急事態宣言発令の影響により、建築工事を中心とした工事物件が中断、延期・中止となり、販売が減少しました。

その結果、ケミカルアンカー製品の売上高は165百万円（前年同四半期比89.3%）となりました。

これらの結果、建築材料事業セグメントの売上高は965百万円（前年同四半期比81.2%）となりました。

<不動産事業セグメント>

不動産事業は、感染症の影響により、賃貸取引が減少する状況のなか、比較的順調に推移いたしました。

その結果、不動産事業セグメントの売上高は94百万円（前年同四半期比95.1%）となりました。

全社の業績といたしましては、売上高は1,060百万円（前年同四半期比82.3%）、営業利益は14百万円（前年同四半期比16.8%）、経常利益は16百万円（前年同四半期比18.6%）、四半期純利益は11百万円（前年同四半期比16.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて515百万円減少の16,136百万円となりました。これは主に、現金及び預金と受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものです。負債は前事業年度末に比べて397百万円減少の1,612百万円となりました。これは主に、電子記録債務と未払消費税等が減少したこと等によるものです。また、純資産は前事業年度末に比べて118百万円減少の14,523百万円となりました。これは主に、四半期純利益を11百万円計上したものの、期末配当金を129百万円支払ったこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

感染症の収束時期や感染拡大が景気に与える影響は極めて不透明であり、当社を取りまく事業環境の先行きについて不確実性が著しく高まったことから、現時点において業績予想を合理的に算出することは困難であります。

そのため、第2四半期累計期間のみの業績予想とし、通期の業績予想を「未定」といたします。

通期の業績予想については、今後開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2021年3月期第2四半期累計期間業績予想数値の修正(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —
今回修正予想(B)	2,200	100	100	70
増減額(B-A)	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—
前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	2,672	235	237	172

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,705,690	3,493,025
受取手形及び売掛金	1,186,985	973,467
電子記録債権	604,752	569,663
有価証券	306,007	236,203
商品及び製品	246,107	234,188
仕掛品	40,771	50,209
原材料及び貯蔵品	416,235	482,908
その他	29,509	65,450
流動資産合計	6,536,060	6,105,116
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,791,908	2,756,330
土地	5,084,469	5,084,469
その他(純額)	776,850	727,975
有形固定資産合計	8,653,228	8,568,775
無形固定資産	15,217	13,872
投資その他の資産		
投資有価証券	1,023,318	1,025,138
その他	424,304	423,355
投資その他の資産合計	1,447,623	1,448,493
固定資産合計	10,116,069	10,031,141
資産合計	16,652,129	16,136,258
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	358,423	309,454
電子記録債務	573,187	442,226
未払法人税等	81,355	15,581
未払消費税等	118,047	36,107
引当金	50,460	36,090
その他	255,092	195,957
流動負債合計	1,436,567	1,035,417
固定負債		
役員退職慰労引当金	340,161	343,737
その他	233,048	233,474
固定負債合計	573,209	577,211
負債合計	2,009,776	1,612,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,515,383	2,515,383
資本剰余金	2,305,533	2,305,533
利益剰余金	10,207,600	10,088,904
自己株式	△371,302	△371,581
株主資本合計	14,657,213	14,538,238
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,861	△14,609
評価・換算差額等合計	△14,861	△14,609
純資産合計	14,642,352	14,523,629
負債純資産合計	16,652,129	16,136,258

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,288,545	1,060,095
売上原価	804,568	688,164
売上総利益	483,977	371,930
販売費及び一般管理費	400,042	357,834
営業利益	83,934	14,095
営業外収益		
受取利息	3,234	3,330
受取配当金	2,056	110
為替差益	729	574
その他	789	1,042
営業外収益合計	6,809	5,058
営業外費用		
売上割引	3,205	2,876
営業外費用合計	3,205	2,876
経常利益	87,539	16,278
特別利益		
投資有価証券売却益	10,011	—
特別利益合計	10,011	—
税引前四半期純利益	97,550	16,278
法人税等	29,752	5,013
四半期純利益	67,797	11,264

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大の会計上の見積りに与える影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。